



住江織物株式会社

2010年5月期 第2四半期決算概況



地球温暖化防止に、インテリアができること。

1	表紙
2	目次
3	2010年5月期第2四半期(09/6~09/11)連結業績
5	連結業績の事業セグメント別内訳
6	インテリア事業分野
8	自動車・車両内装事業分野
11	その他の事業分野
12	連結B/S 連結C/F
13	連結業績の半期別推移
14	2010年5月期(通期) 連結業績見通し
16	株主配当について
17	スミノエ テイジン テクノ株式会社設立
20	環境への取り組み

●Profit and loss statement (単位:百万円)

連結業績

	当第2四半期	前年同期	前年同期比		期初計画	期初計画比	
			(%)	(増減額)		(%)	(増減額)
売上高	34,184	40,981	△16.6%	△6,797	31,600	8.2%	2,584
営業利益	769	464	65.6%	304	△60		829
営業利益率	2.3 %	1.1 %					
経常利益	746	599	24.4%	146	△10		756
経常利益率	2.2 %	1.4 %					
当期純利益	322	44	628.7%	278	△100		422
当期純利益率	0.9 %	0.1 %					

連結売上高は**341**億8千4百万円

(前年同期比67億9千7百万円減、期初計画比25億8千4百万円増)

■連結売上高

急激な景気後退からやや持ち直し、第2四半期業績は期初計画は上回ったものの、主力のインテリア、自動車内装事業ともに市場が縮小し、また低価格商材へのシフトが加速したため、前年同期比67億9千7百万円減の341億円となった。

連結営業利益は**7**億6千9百万円

(前年同期比3億4百万円増、期初計画比8億2千9百万円増)

■連結営業利益

09年5月に行った大阪工場閉鎖等の事業構造改革や、各事業分野での徹底的な経費削減により、営業利益は前年同期比3億4百万円増の7億6千9百万円となった。

■連結経常利益

持分法適用会社の住商エアバッグ・システムズが大幅減益となったため、持分法による投資損失を8千2百万円計上したが、経常利益は前年同期比1億4千6百万円増の7億4千6百万円となった。

■連結当期純利益

早期退職優遇措置にともなう特別加算金として1億1千2百万円を特別損失に計上した。当期純利益は前年同期比2億7千8百万円増の3億2千2百万円となった。

連結業績の事業セグメント別内訳

●Segment information (単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比		期初計画	期初計画比		
			(%)	(増減額)		(%)	(増減額)	
売上高	インテリア	15,882	17,803	△10.8%	△1,920	15,500	2.5%	382
	自動車・車両内装	15,723	19,845	△20.8%	△4,122	13,000	20.9%	2,723
	その他	2,579	3,333	△22.6%	△754	3,100	△16.8%	△521
	セグメント合計	34,184	40,981	△16.6%	△6,797	31,600	8.2%	2,584

	当第2四半期	前年同期	前年同期比		期初計画	期初計画比		
			(%)	(増減額)		(%)	(増減額)	
営業利益	インテリア	382	226	68.9%	156	250	52.8%	132
	自動車・車両内装	914	737	23.9%	176	250	265.6%	664
	その他	190	234	△18.7%	△43	150	26.7%	40
	消去または全社	△718	△734	△2.2%	16	△710	-	△8
	セグメント合計	769	464	65.6%	304	△60	-	828

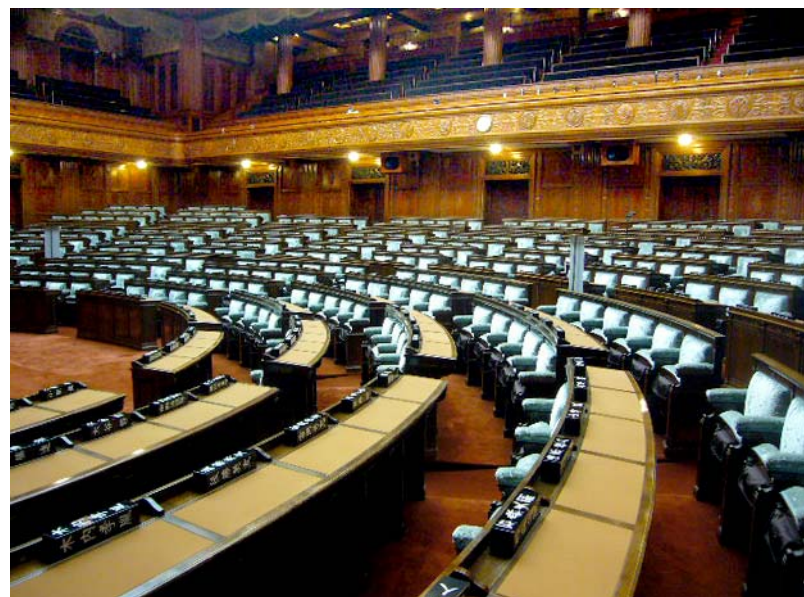
コア商品であるカーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

連結売上高 **158**億8千2百万円

(前年同期 178億3百万円)

連結営業利益 **3**億8千2百万円

(前年同期 2億2千6百万円)



衆議院本会議場 椅子張り地

■前年同期比19億円減収、1.5億円増益

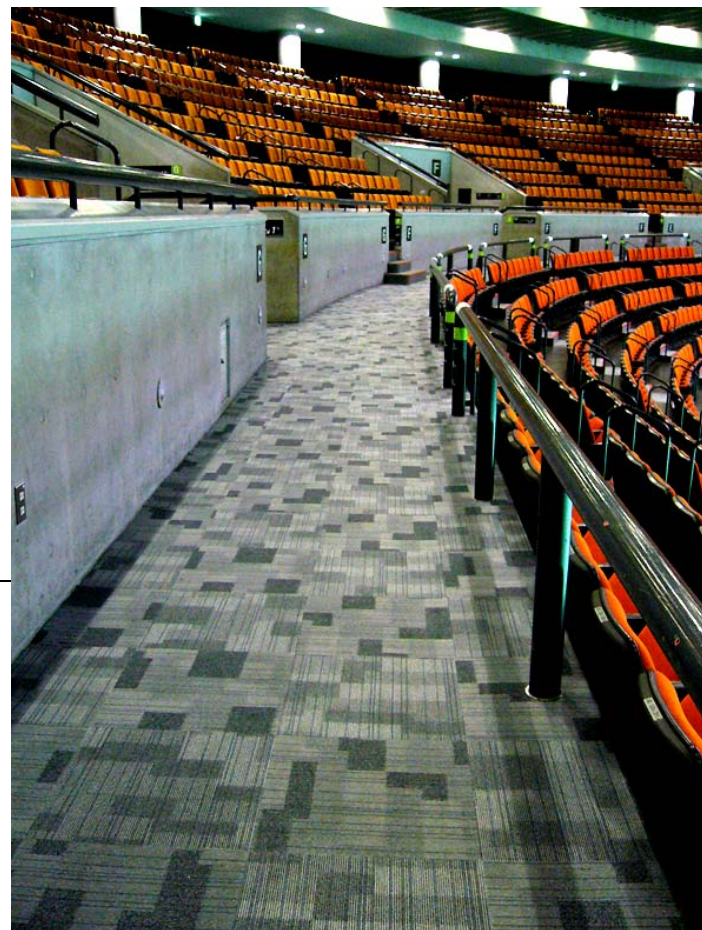
国内景気の悪化が市場の縮小に拍車をかけ、オフィスビルや商業施設、ホテル向けのカーペットは、リニューアル工事の見送りや新築工事の減少から売上が前年同期を下回った。一般家庭向けのカーペット、ラグマットも、住宅着工件数の激減や個人消費の低迷から前年同期を下回ったが、壁紙では、「空気を洗う壁紙®TF-V」を中心に商品ラインナップの充実を図ったことで売上が増加し、需要が冷え込むなか好調に推移した。利益面では、徹底的な経費の削減を行ったことにより、営業利益は前年同期を1億5千6百万円上回り、3億8千2百万円(前年同期比68.9%増)となった。



別注ウィルトン
カーペット
長崎県諫早市
新庁舎



トリプルフレッシュ
消臭加工カーテン
帝京大学医学部
附属病院



エコマーク取得
環境対策タイルカーペット「SG-400」
大阪城ホール

フロアカーペット、シート表皮材、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで販売

車両内装分野を合わせた連結業績

連結売上高 **157** 億2千3百万円

(前年同期 198億4千5百万円)

連結営業利益 **9** 億1千4百万円

(前年同期 7億3千7百万円)



スズキ ワゴンR

■前年同期比41億円減収、1.7億円増益

エコカー減税、補助金制度の効果により、国内自動車生産台数は前年同期比で8割まで持ち直したが、自動車内装材の需要が低価格帯へシフトしたため、国内における当事業は、売上、営業利益ともに前年同期比で7割程度の回復にとどまった。海外では、米国子会社STAの売上が前年同期を下回ったものの復調傾向にあり、利益面では積極的な収支改善活動により第2四半期から黒字化し、前年同期と比べ大きく改善した。中国ではSPMが売上を伸ばし、前年同期比2倍近くとなり、利益面でも順調に推移した。

**鉄道・バスにシート表皮材やカーペット、
リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売**

高速道路の休日特別割引や新型インフルエンザの影響等で乗客数が減少し、内装材市場も冷え込むなか、新車向け需要は堅調だったものの、リニューアル需要は大きく落ち込んだ。また、バス向け内装材の売上も低調だったため、減収減益となった。

JR東日本E259系 成田エクスプレス



Train Fabric

Sheet Fabric

西日本鉄道(株) 夜行高速バス「はかた」号



JR東海 新幹線700系
(リニューアル時に「スミキューブ」を座部に納入)



Industrial Materials

連結売上高 **25** 億7千9百万円
(前年同期 33億3千3百万円)

連結営業利益 **1** 億9千万円
(前年同期 2億3千4百万円)



■前年同期比7億円減収、4千万円減益

ホットカーペット事業では、市場がやや縮小するなか、受注台数を前年より伸ばしたためシェアを拡大したが、急激な円高進行と販売価格の大幅下落により、売上は前年同期を下回った。タイルカーペットのOEM事業では、国内向けは景気後退が影響し、海外向けは円高によって売上が前年同期を下回った。

●Balance sheet (単位:百万円)

連結 B/S	当第2四半期	前年同期
総資産	68,607	77,923
現預金	5,848	6,728
売上債権	19,061	23,788
たな卸資産	9,571	11,272
その他の流動資産	2,987	3,614
有・無形固定資産	22,899	24,241
投資その他の資産	8,239	8,278
総負債	43,683	51,779
仕入債務	15,487	21,851
短期借入金および 一年以内償還社債	9,900	10,053
その他流動負債	2,808	4,103
長期借入金・社債	5,985	5,732
その他固定負債	9,502	10,040
純資産	24,923	26,144
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	5,524	6,284
自己株式	△325	△322
有価証券評価差額金	311	530
土地再評価差額金	7,184	7,184
その他評価・換算差額	△397	△123
少数株主持分	420	384

【たな卸資産】

在庫の圧縮が進み、前年同期比△1,701百万円、前期末比△1,177百万円となった。

【有形・無形固定資産】

09年5月末に行った大阪工場の閉鎖や奈良工場の再編などによって、建物や機械設備が減少したため、前中間期比△1,342百万円、前期末比△461百万円となった。

●Statement of cash flows (単位:百万円)

連結 C/F	当第2四半期	前年同期
営業活動によるC/F	△506	△2,615
投資活動によるC/F	△234	△347
財務活動によるC/F	△141	764
換算レート変動の影響	△18	△33
期中の増減額	△901	△2,231
期首の現金残高	6,529	8,960
期末の現金残高	5,628	6,728

■半期別推移（単位：百万円）

期末売上高

営業利益

経常利益

純利益

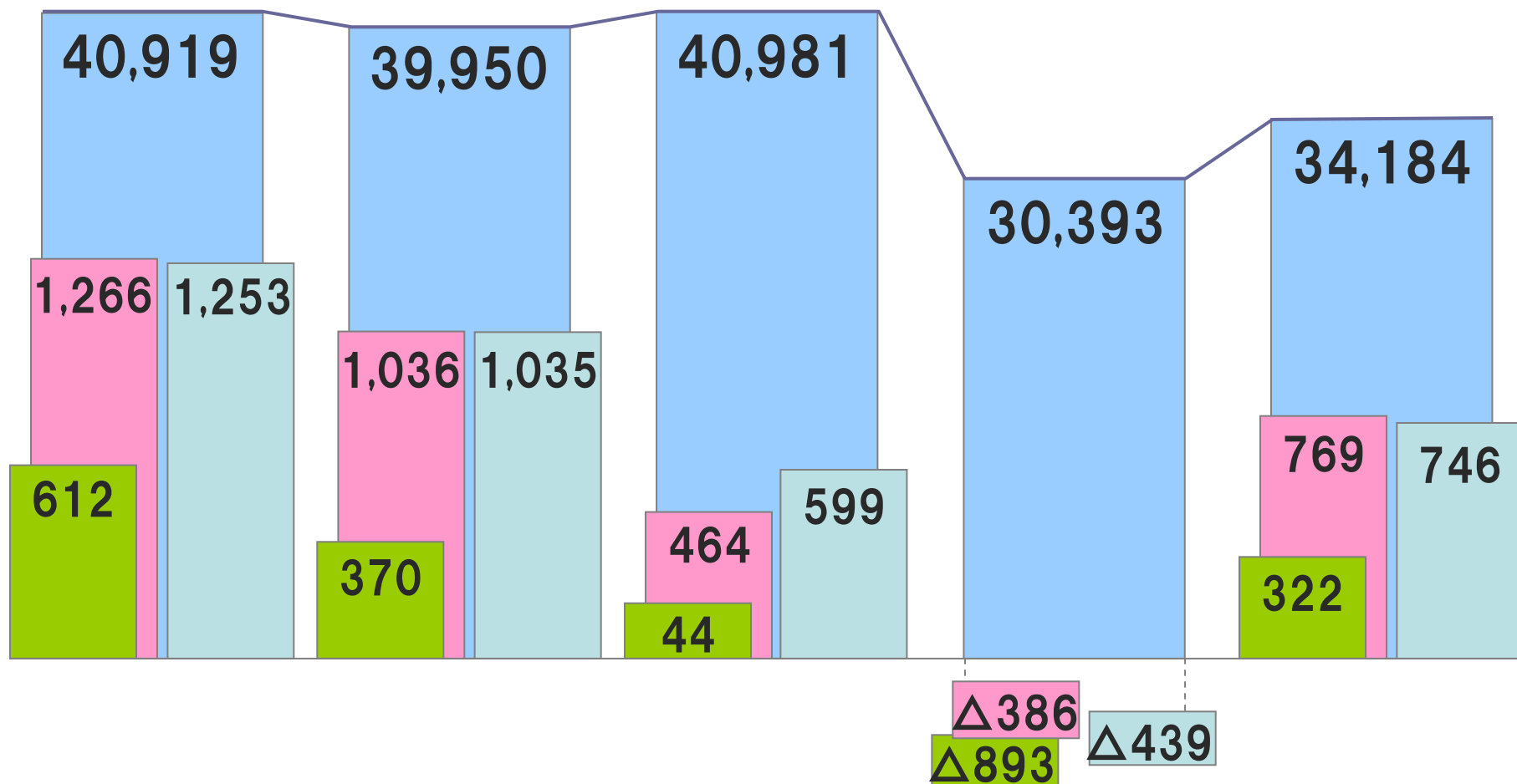
08年5月上旬期

08年5月下期

09年5月上旬期

09年5月下期

10年5月上旬期



2010年5月期 期初計画

業績修正見直し

売上高	650億円	→	695億円
営業利益	4億円	→	11億円
経常利益	7億円	→	12億円
当期純利益	4億円	→	6億円

■連結売上高は期初計画比45億円増の695億円、営業利益は同7億円増の11億円

単位:百万円

連結売上高		見通し	期初計画	(%)	増減額
	インテリア	32,300	31,500	2.5%	800
	自動車・車両内装	33,400	29,500	13.2%	3,900
	その他	3,800	4,000	-5.0%	△200
	セグメント合計	69,500	65,000	6.9%	4,500

単位:百万円

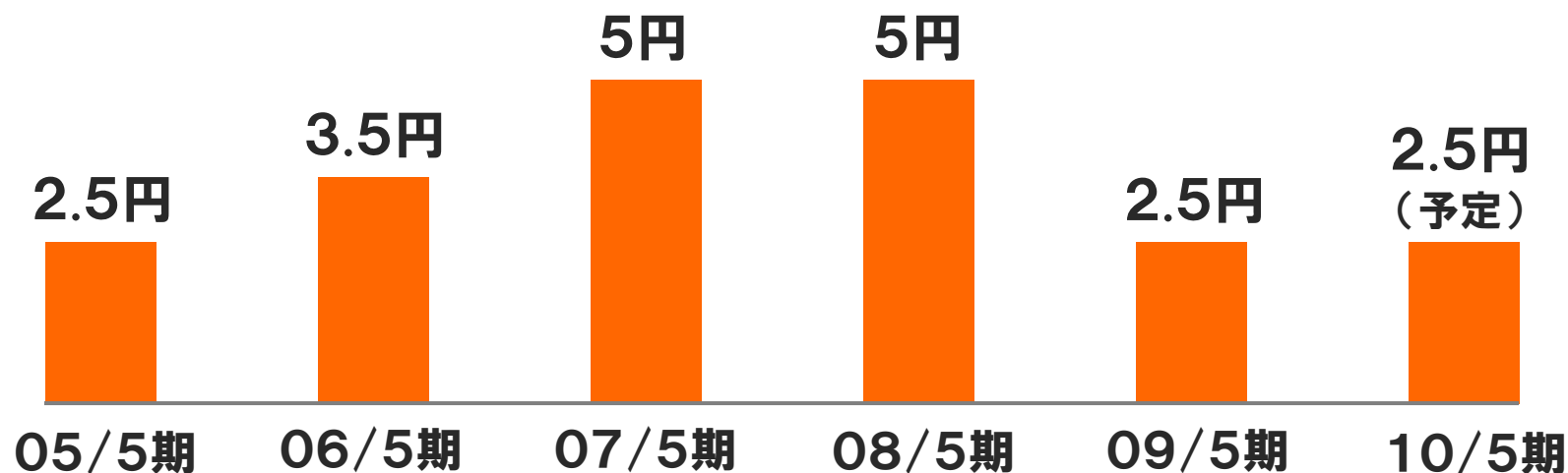
連結営業利益		見通し	期初計画	(%)	増減額
	インテリア	700	800	-12.5%	△100
	自動車・車両内装	1,680	900	86.7%	780
	その他	140	100	40.0%	40
	消去または全社	△1,420	△1,400	-	△20
セグメント合計	1,100	400	-	700	

第3四半期以降は、円高とデフレ進行によって国内景気の二番底が懸念されるなか、自動車内装事業、インテリア事業ともに売上は上期ベースを維持するも、企業間競争の激化と低価格帯商品への需要シフトから利益率の低下が予想される。

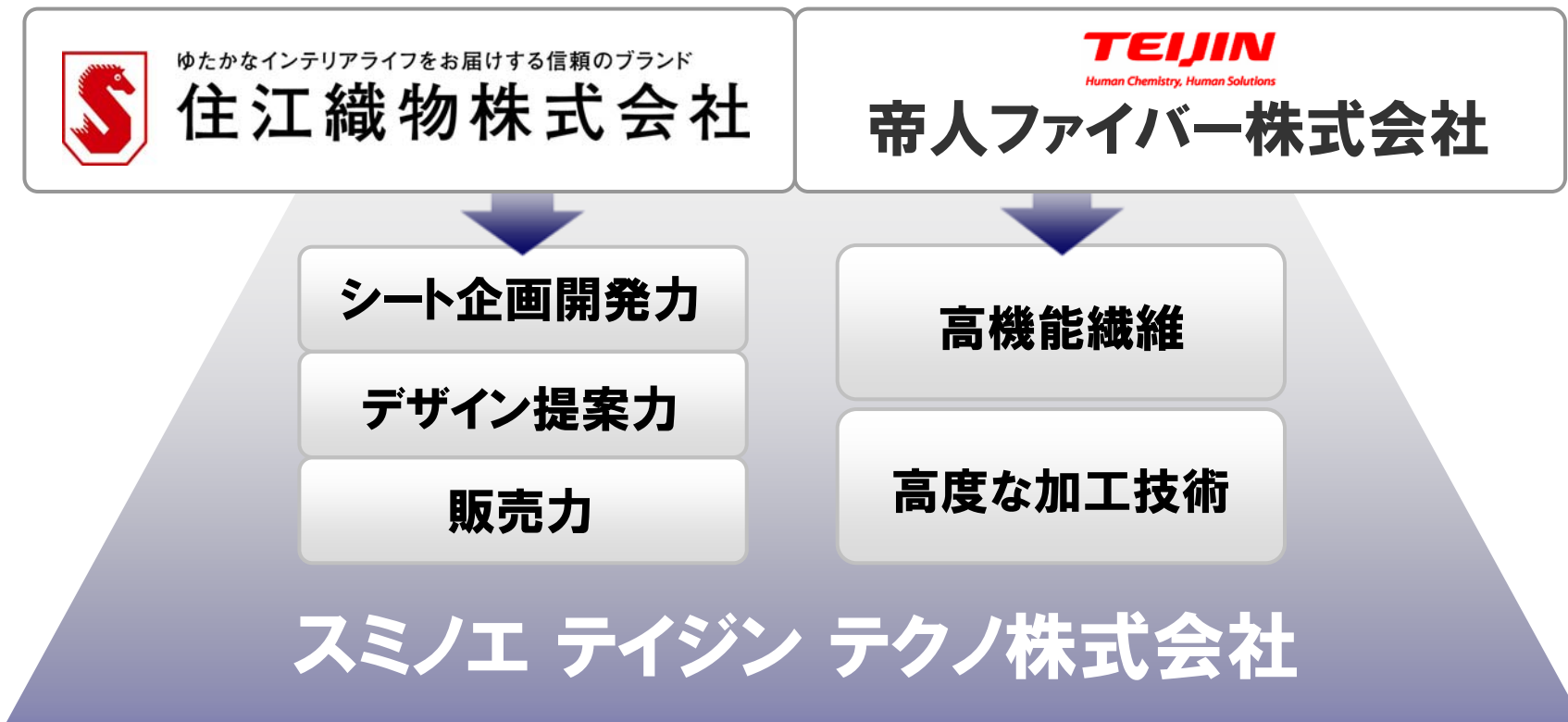
■2010年5月期について

急激な景気失速からは持ち直したものの、当第2四半期は本格的な業績回復には至っておらず、年度後半も厳しい状況が続くことが予想されるため、中間配当については無配とし、期末配当は2円50銭を予定しています。

■配当額の推移



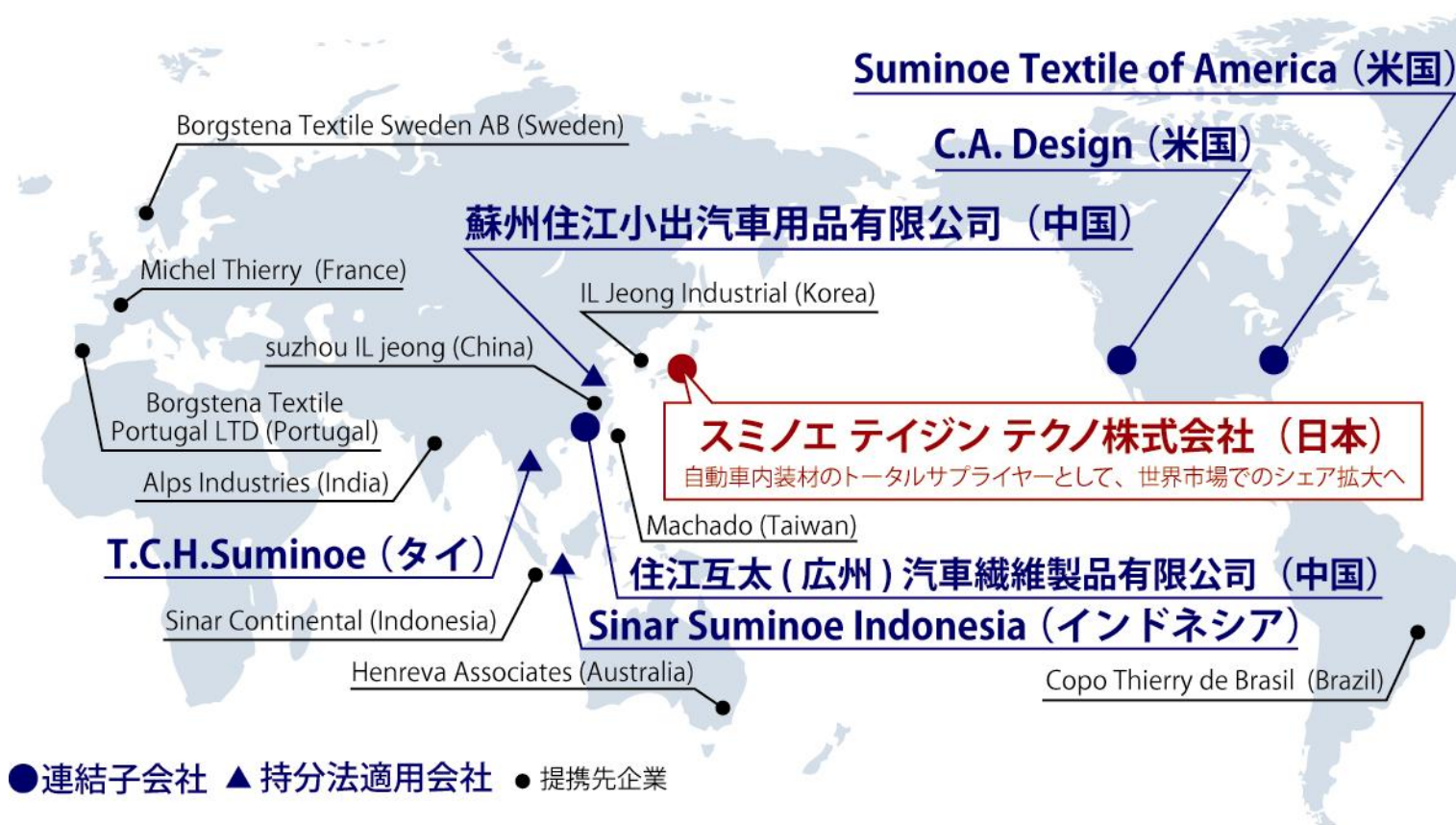
2009年12月1日、世界的に競争が激化する自動車内装材市場に対応するため、当社と帝人ファイバー株式会社は、自動車用シート表皮材関連事業を分割し、新たにスミノエ テイジン テクノ株式会社を設立しました。



2社の強みを最大限に活かし、効率的で収益性の高い、
製販一体型のファブリックメーカーを目指す

■自動車内装材の世界最適供給体制を構築

国内自動車メーカーが生産拠点の海外移転を加速するなか、自動車内装事業もグローバルな生産体制が急務となっています。世界の自動車需要の動向を見極め、新興市場での基盤強化を図りながら、新設したスミノエ テイジン テクノを基軸とした世界最適供給体制を構築します。



社名	スミノエ テイジン テクノ株式会社
所在地	大阪府中央区南船場3-11-20
資本金	4.5億円
売上高目標	150億円(中期目標)
出資比率	住江織物:50.1%、帝人ファイバー:49.9%
代表者	代表取締役社長 吉川 一三
事業内容	自動車向けシートおよび天井材の開発・生産・販売

■環境対策宣言を刷新

インテリア業界にさきがけて1998年に発表した「スミノエ環境宣言」を刷新し、新たに「住江織物グループ 環境対策宣言」を制定しました。当社製品による室内環境の改善、企業活動を通じた地球環境の保護に、住江グループ全社で積極的に取り組んでまいります。

住江織物グループ 環境対策宣言

- 宣言1 室内環境を改善し、快適な空間を実現します
- 宣言2 循環型社会に対応し、リサイクル材を積極的に採用します
- 宣言3 CO₂削減と環境負荷を低減させる製品を提供します
- 宣言4 安心・安全な素材を使用し、健康と環境に配慮します
- 宣言5 製造から製品に至るまで、省資源・省エネルギーに取り組めます
- 宣言6 最新情報に基づき、環境負荷物質の適正管理を推進します
- 宣言7 エコを意識した製品を提案・提供します



当社ショールームに
環境対策パネルを設置
「Sumino eco Design」



■日経 環境経営度のランキング 繊維業種で第3位に

2009年12月3日、日本経済新聞社「第13回企業の環境経営度」調査のランキング結果が公表され、当社は繊維業種で15社中第3位、製造業では回答企業484社中第172位の評価をいただきました。

当社の得点状況

